

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成25年2月8日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,210	11.3	866	81.7	950	74.6	668	121.4
24年3月期第3四半期	10,072	35.6	477	—	544	—	302	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 653百万円(129.6%) 24年3月期第3四半期 284百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	61.38	61.06
24年3月期第3四半期	28.14	27.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,984	9,241	57.8
24年3月期	15,791	8,739	55.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,232百万円 24年3月期 8,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	14,940	3.6	1,008	2.0	1,143	5.2	794	24.9	72.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成25年2月8日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	11,020,000株	24年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	130,629株	24年3月期	159,629株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	10,893,392株	24年3月期3Q	10,732,719株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需が底堅く推移し、緩やかに回復を続けてきましたが、先進国の財政問題や新興国の景気失速の影響を受けて、景気は弱い動きになりました。一方で、平成24年12月に交代した新政権への政策期待から、懸念されていた円高の是正が進みましたが、欧州景気の低迷、中国経済の減速、米国財政の問題などの景気下振れリスクが存在したままであり、先行きは予断を許さない状況にあります。

工作機械業界におきましては、外需を中心に高水準の需要を維持してきましたが、堅調であったアジア向けの受注が減少に転じ、更に内需も積極的な設備投資意欲が見えてこないなど、工作機械需要の好調さは徐々に陰りを見せ、平成24年4～12月の業界受注総額は前年同期を9.9%下回る8,968億円となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は112億10百万円と、前年同期に比べ11億37百万円(11.3%増)の増収となり、営業利益は8億66百万円(前年同期比81.7%増)、経常利益は9億50百万円(同74.6%増)、四半期純利益は6億68百万円(同121.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工作機械事業

工作機械事業におきましては、工作機械業界で需要をけん引している海外市場への対応強化をはかるとともに、海外進出の積極化をはかっている大手ユーザに対して、当社グループの自動化技術・ノウハウをもって設備投資の最適な提案を行うことで受注獲得に努めてきました。

特に、市場の拡大が進むアジアに対して積極的な対応をはかってきました。自動車関連の需要が高まっているタイではプライベート・ショーを開催し、インドネシアではサービス体制の強化をはかるために現地法人の設立準備を進めてきました。また、中国市場におきましては、シェア拡大をはかるために日系自動車関連企業が多い広州に喜志高松貿易(杭州)有限公司広州分公司を設立し、広州での本格的な営業活動をスタートさせております。

アメリカ市場におきましては、景気回復基調に伴って拡大傾向にある需要の取り込みをはかって積極的な営業活動を行ってきたほか、医療産業や航空機産業への販路拡大や日系ユーザの進出が進むメキシコ地域の対応を進めてきました。

国内市場におきましては、平成24年11月に東京で開催されたJIMTOF2012(日本国際工作機械見本市)に新製品ほか全9機種を出展し、製品加工のデモンストレーションなどを行ってアピールした結果、多くの受注・引合をいただきました。

生産におきましては、より多くの製品を提供していくために、設計や組立などで外注を効果的に活用しておりますが、更に生産能力拡大をはかるために本社工場の増築中であり、今年度末の完成予定であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における工作機械受注高は84億99百万円(前年同期比2.9%減)となり、工作機械受注残高は41億86百万円(同18.6%減)となりました。

売上高におきましては、103億38百万円(同15.0%増)となり、その内訳は、内需60億90百万円(同15.7%増)、外需42億48百万円(同14.0%増)、外需比率41.1%(前年同期は41.4%)であります。また、営業利益は8億70百万円(前年同期比108.3%増)となりました。

IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、中国経済の停滞や製品の在庫調整の影響から厳しい環境にありますが、液晶関係やLED関係で徐々に動きが出てきており、先行きに若干の期待が見え始めました。

この結果、売上高は3億90百万円(前年同期比42.8%減)となり、営業損失は17百万円(前年同期は52百万円の営業利益)となりました。

自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、日中問題によって軽微な影響を受けたものの、自動車生産の回復を背景に受注が堅調に推移してきました。また、事業拡大のための営業活動を進め、新規受注の獲得や新規取引先の開拓をはかってきました。

この結果、売上高は4億80百万円(前年同期比20.4%増)となり、営業利益は13百万円(同106.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は159億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて、1億92百万円増加しました。

その主な要因としましては、現金及び預金が2億85百万円減少したものの、たな卸資産が3億72百万円、建設仮勘定が2億48百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は67億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億9百万円減少しました。

その主な要因としましては、未払金が2億35百万円、未払法人税等が1億74百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が7億41百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は92億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて、5億2百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が5億59百万円増加したことによるもので、自己資本比率は57.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の業界動向を勘案し、平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期の通期連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(平成25年2月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間における損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,860	2,575
受取手形及び売掛金	5,352	5,313
商品及び製品	410	597
仕掛品	874	1,081
原材料及び貯蔵品	879	857
その他	332	285
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	10,704	10,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	949	923
土地	2,326	2,326
その他(純額)	834	998
有形固定資産合計	4,110	4,248
無形固定資産		
	68	95
投資その他の資産		
その他	908	934
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	907	933
固定資産合計	5,086	5,277
資産合計	15,791	15,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,080	3,339
短期借入金	829	829
未払法人税等	41	216
賞与引当金	162	43
役員賞与引当金	23	23
製品保証引当金	36	27
その他	307	686
流動負債合計	5,480	5,166
固定負債		
長期借入金	767	692
退職給付引当金	488	501
役員退職慰労引当金	272	295
その他	42	86
固定負債合計	1,571	1,575
負債合計	7,052	6,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,826	1,823
利益剰余金	5,089	5,649
自己株式	△64	△53
株主資本合計	8,687	9,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	28
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△50	△51
その他の包括利益累計額合計	△6	△22
新株予約権	58	8
少数株主持分	0	1
純資産合計	8,739	9,241
負債純資産合計	15,791	15,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,072	11,210
売上原価	7,784	8,425
売上総利益	2,287	2,784
販売費及び一般管理費	1,810	1,918
営業利益	477	866
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	4
再生物売却収入	9	6
持分法による投資利益	54	52
為替差益	—	10
その他	19	20
営業外収益合計	88	97
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	9	—
保険解約損	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	21	13
経常利益	544	950
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	—	0
新株予約権戻入益	—	46
特別利益合計	3	47
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	544	996
法人税、住民税及び事業税	38	251
法人税等調整額	203	75
法人税等合計	242	327
少数株主損益調整前四半期純利益	302	669
少数株主利益	0	0
四半期純利益	302	668

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	302	669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△15
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△13	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△1
その他の包括利益合計	△17	△16
四半期包括利益	284	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284	652
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。